特定非営利活動法人

アジア眼科医療協力会

2021年度事業報告

（2021年4月1日～2022年3月31日）

初期のアイキャンプのようす

NO.48:2022年10月発行

目次

巻頭言　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
２０２１年度事業報告　・・・・・・・・・・・・・・　3
２０２２年度事業計画　・・・・・・・・・・・・・・　5
２０２１年度決算報告　・・・・・・・・・・・・・・　6
２０２２年度予算　・・・・・・・・・・・・・・・・　9
寄付者名簿　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
アイキャンプ活動のない年末 ・・・・・・・・・・・・12
　浅野　宏規・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
　荒木　敬士・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
　柏瀬　光寿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
　籠谷　保明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　眞鍋　　歩・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
役員・顧問名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
活動理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
事務局よりご報告とご案内・・・・・・・・・・・・26

巻頭言

新型コロナウイルス（コロナ）のパンデミックが始まり３年が経過しましたが、一向に収束する気配が見えてきません。むしろ、次々に変異株が登場し、さらなる感染拡大が起こっているのが現状です。当然AOCAにおいても、この２年間殆ど何も出来ない活動休止の状態が続いています。現地病院へのコロナ対策としての物品の寄付や眼科医療機材購入の援助は行いましたが、本年も昨年同様、アイキャンプなど直接現地に出かけての活動報告が出来ないことは誠に残念です。

この状況でAOCAに今何ができるのかを模索していますが、建設的な考えが出て来ていないのが現状です。

この状態が今後も続くようなら、AOCAの存在意義も問われることになるのではと思わざるを得ない状況になっています。
とはいえ、コロナ禍が落ち着いた後に、AOCAはどのような活動を行ってゆけばよいかを思い巡らしながら、今はエネルギーを蓄える時期かなと思っています。

AOCAを援助してくださっている皆様におかれましては、どうかこの現状を理解していただき、早くコロナ禍が治まることを共に願いたいと思います。

特定非営利活動法人 アジア眼科医療協力会

理事長　　黒田　真一郎

２０２１年度事業報告

2021年4月1日～2022年3月31日

概　要

2019年12月に中国の武漢で発生し世界中に感染が拡大し、時の経過とともに感染力が強い変異株に置き換わり現在も収束が見えないCOVID-19の影響で、今年度も昨年度に引き続き、支援地に赴いて支援活動を行うアイキャンプ活動が実施できなかった。21年前からアイキャンプ活動を行ってきたインド・北西部の丘陵地にあるダラムサラのデレック病院における活動、ならびに3年前から2回行ったインド南部カルタナカ州のバイラクッペにあるTso Jhe Khangsar Charity Hospitalにおける活動、ともに行うことが出来なかった。現地に赴くことに代えて今年度も医療用器材や医療用消耗品の寄贈に取り組んだ。

Ⅰ．物品寄贈

a)デレック病院への物品寄贈

過去20年にわたりインド・北西部丘陵地のダラムサラにあるデレック病院においてアイキャンプ活動を行ってきたが、2021年度については昨年同様実施できなかった。2021年度も当会からは資金提供し、デレック病院で必要な医療用の物品を購入するかたちで寄贈を行った。

診察用ベッド

医療用ごみ箱

b) Tso Jhe Khangsar Charity Hospitalへの物品寄贈

インド南部カルタナカ州のバイラクッペにあるTso Jhe Khangsar Charity Hospitalでのアイキャンプ活動は2020年度同様コロナ禍のために実施できなかった。当病院にもダラムサラのデレック病院と同様の方法で病院に必要な物品を寄贈するために資金提供した。

3

c）ネパールへの物品寄贈

ミサキメディカルより2年前に寄贈いただいていたローデンストック社製のスリットランプをネパールのNepal Netra Jyoti Sanghを通じてネパール国カトマンズ群キリティプルにあるKirtipur Eye Hospital へ寄贈した。

下記Kirtipur Eye Hospitalの院長Dr. Dr. Binita Sharma から感謝のメッセージを頂きました。

On behalf of Kirtipur eye hospital, I would like to extend heartfelt thanks to aoca for this equipment support.
It is a wonderful opportunity to partner with aoca.

（キリティプル眼科病院を代表いたしまして、今回の眼科医療器材のご支援に対してAOCAに心からの感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。）

Ⅱ．AOCA50周年記念誌

AOCAの50周年を記念して記念誌の発行を次年度に予定しており、過去にAOCAに関わってくださった方々から原稿をお寄せいただき、編集作業に取り掛かった。

Ⅲ会議･会合

Ⅰ．定期総会の開催

日時：令和3年6月19日(土)

開催方法：ZOOMを利用してリモートにて開催

Ⅱ．　理事会の開催

1）　令和3年6月19日(土)　14：00～15：00　ZOOMを利用してリモートにて開催

2）　令和3年12月11日(土)　14：00～15：00　ZOOMを利用してリモートにて開催

２０２２年度事業計画

2022年4月1日～202年3月31日

概　要

Ⅰ.アイキャンプ活動

1.インド・ダラムサラアイキャンプ

インド・ダラムサラアイキャンプについては、アイキャンプ実施の準備期限の9月までにコロナが落ち着き、コロナ前のように渡航に規制がなくなる状況下になれば、実施の方向で検討する。

2.南インド・バイラクッペアイキャンプ

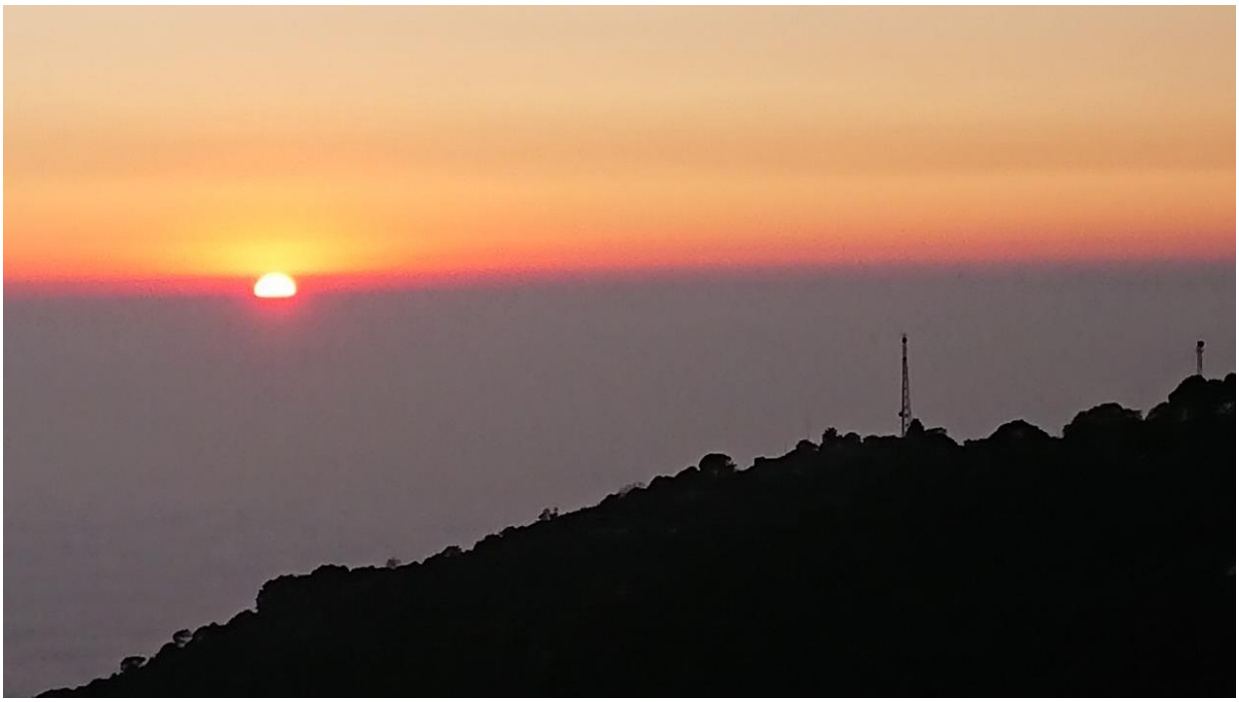
南インド・バイラクッペアイキャンプについては、アイキャンプ実施の準備期限の9月までににコロナが落ち着き、コロナ前のように渡航に規制がなくなる状況下になれば、実施の方向で検討する。

Ⅱ．眼科医療用器材寄贈

ネパールからの支援要請に応じて、AOCAのできる範囲で眼科医療技術支援ならびに医療用器材等の支援をする。

Ⅲ．AOCA50周年記念誌の発行

AOCAに関わってくださった方々からお寄せいただいたメッセージを掲載した、AOCA50周年記念誌を発行を10月頃に発行する。



2021年度　活動計算書
特定非営利活動法人アジア眼科医療協力会　　（単位：円）

科目	予算額	決算額	予算残額
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
正会員受取会費	700,000	720,000	-20,000
賛助会員受取会費	150,000	155,000	-5,000
受取会費計	850,000	875,000	-25,000
受取寄付金	500,000	1,040,000	-540,000
募金収益	10,000	94,938	-84,938
50周年記念イベント	0	75,000	-75,000
ネパール寄附金	0	20,000	-20,000
広告料収益	16,200	16,500	-300
受取寄付金計	526,200	1,246,438	-720,238
受取民間補助金	50,000	50,000	0
受取民間助成金	900,000	400,000	500,000
受取助成金等計	950,000	450,000	500,000
その他収益計	10,020	10,673	-653
経常収益合計	2,336,220	2,582,111	-245,891
(2)経常費用			
事業費			
給料手当	700,000	700,000	0
【人件費計】	700,000	700,000	0
通信運搬費	100,000	0	100,000
消耗什器備品費	500,000	1,000,000	-500,000
消耗品費	100,000	0	100,000
支払地代家賃	277,200	277,200	0
雑費	35,000	0	35,000
【その他費用計】	1,012,200	1,277,200	-265,000
事業費計	1,712,200	1,977,200	-265,000
管理費			
給料手当	300,000	300,000	0
法定福利費	3,020	3,020	0
【人件費計】	303,020	303,020	0
会議費	20,100	25,805	-5,705
通信運搬費	300,000	200,514	99,486
消耗品費	30,000	29,669	331
事務用品費	10,000	2,640	7,360
印刷製本費	250,000	47,930	202,070
保険料	6,500	6,500	0
水道光熱費	30,000	43,801	-13,801
支払地代家賃	118,800	118,800	0
委託費	30,000	30,000	0
諸会費	85,000	85,000	0
支払手数料	30,000	52,460	-22,460
租税公課	2,500	0	2,500
雑費	20,000	12,379	7,621
【その他費用計】	932,900	655,498	277,402
管理費計	1,235,920	958,518	277,402
経常費用合計	2,948,120	2,935,718	12,402
当期経常増減額	-611,900	-353,607	-258,293
当期正味財産増減額	-611,900	-353,607	-258,293
前期繰越正味財産額	6,746,435	6,746,435	0
次期繰越正味財産額	6,134,535	6,392,828	-258,293

２０２１年度決算報告

2021年4月1日～2022年3月31日

1. 重要な会計方針
　計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日　2011年11月20日一部改正　2017年12月12日最終改正)によっています。
　(1)消費税の会計処理
　　消費税の会計処理は税込み経理方式によっています。
2. 事業別損益の状況
　事業別損益の状況は以下の通りです。

科目名	ダラムサラ	現地	バイラクッペ	事業部門計	管理部門	合計
1.経常増減の部						
(1)経常収益						
正会員受取会費	0	0	0	0	720,000	720,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	155,000	155,000
受取会費計	0	0	0	0	875,000	875,000
受取寄付金	0	0	0	0	1,040,000	1,040,000
募金収益	0	0	0	0	94,938	94,938
50周年記念イベント	0	0	0	0	75,000	75,000
ネパール寄附金	0	20,000	0	20,000	0	20,000
広告料収益	0	0	0	0	16,500	16,500
受取寄付金計	0	20,000	0	20,000	1,226,438	1,246,438
受取民間補助金	0	0	50,000	50,000	0	50,000
受取民間助成金	400,000	0	0	400,000	0	400,000
受取助成金等計	400,000	0	50,000	450,000	0	450,000
その他収益計	0	0	0	0	10,673	10,673
経常収益合計	400,000	20,000	50,000	470,000	2,112,111	2,582,111
(2)経常費用						
給料手当	350,000	0	350,000	700,000	300,000	1,000,000
法定福利費	0	0	0	0	3,020	3,020
【人件費計】	350,000	0	350,000	700,000	303,020	1,003,020
会議費	0	0	0	0	25,805	25,805
通信運搬費	0	0	0	0	200,514	200,514
消耗什器備品費	700,000	0	300,000	1,000,000	0	1,000,000
消耗品費	0	0	0	0	29,669	29,669
事務用品費	0	0	0	0	2,640	2,640
印刷製本費	0	0	0	0	47,930	47,930
保険料	0	0	0	0	6,500	6,500
水道光熱費	0	0	0	0	43,801	43,801
支払地代家賃	138,600	0	138,600	277,200	118,800	396,000
委託費	0	0	0	0	30,000	30,000
諸会費	0	0	0	0	85,000	85,000
支払手数料	0	0	0	0	52,460	52,460
雑費	0	0	0	0	12,379	12,379
【その他費用計】	838,600	0	438,600	1,277,200	655,498	1,932,698
経常費用合計	1,188,600	0	788,600	1,977,200	958,518	2,935,718
当期経常増減額	-788,600	20,000	-738,600	-1,507,200	1,153,593	-353,607
当期正味財産増減額	-788,600	20,000	-738,600	-1,507,200	1,153,593	-353,607

3. 使途等が制約された寄附金等の内訳
　使途等が制約された寄附金等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は4,398,985円ですが、したがって、使途の制約されていない正味財産は4,169,932円です。
　そのうち79,053円はネパール震災支援に、150,000円は50周年記念事業に使用される財産です。

内　容	期首残高	当期増減高	当期減少高	期末残高	備　考
ネパール支援	79,053	20,000	0	99,053	ネパール震災支援の寄附金
50周年記念事業	150,000	75,000	0	225,000	AOCA50周年記念事業への寄附金
兵庫県眼科医会	0	50,000	0	50,000	バイラクッペアイキャンプへの補助金
一燈園	0	500,000	0	500,000	ダラムサラアイキャンプへの補助金
合　計	229,053	645,000	0	874,053	

2021年度　貸借対照表

2022年3月31日現在

特定非営利活動法人アジア眼科医療協力会　　（単位：円）

科　　目	金　　額		
資産の部			
流動資産			
現金	111,417		
当座預金	2,869,272		
普通預金	3,308,972		
前払金	39,500		
流動資産合計		6,329,161	
固定資産			
電話加入権	72,000		
固定資産合計		72,000	
資産合計			6,401,161
負債の部			
流動負債			
未払費用	8,333		
流動負債合計		8,333	
固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			8,333
正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,746,435	
当期正味財産増減額		−353,607	
正味財産合計			6,392,828
負債及び正味財産合計			6,401,161

２０２２年度予算

2022年度　活動予算書

2022年04月01日～2023年03月31日

特定非営利活動法人アジア眼科医療協力会　（単位:円）

科目	2022年度予算額
1.経常増減の部	
(1)経常収益	
受取会費	
正会員受取会費	700,000
賛助会員受取会費	150,000
受取会費計	850,000
受取寄付金	
受取寄付金	800,000
募金収益	50,000
50周年記念イベント	20,000
広告料収益	16,500
受取寄付金計	886,500
受取助成金等	
受取民間補助金	50,000
受取民間助成金	
－一燈園	500,000
受取助成金等計	550,000
その他収益	
受取利息	30
雑収益	20,000
その他収益計	20,030
経常収益合計	2,306,530
(2)経常費用	
事業費	
【人件費】	
給料手当	700,000
【人件費計】	700,000
【その他費用】	
通信運搬費	70,000
支払地代家賃	277,200
雑費	30,000
予備費	300,000
【その他費用計】	677,200
事業費計	1,377,200
管理費	
【人件費】	
給料手当	300,000
法定福利費	3,020
【人件費計】	303,020
【その他費用】	
会議費	20,000
通信運搬費	150,000
消耗品費	30,000
事務用品費	10,000
印刷製本費	730,000
保険料	6,500
水道光熱費	35,000
支払地代家賃	118,800
委託費	30,000
諸会費	85,000
支払手数料	30,000
雑費	10,000
【その他費用計】	1,255,300
管理費計	1,558,320
経常費用合計	2,935,520
当期経常増減額	−628,990
税引前当期正味財産増減額	−628,990
当期正味財産増減額	−628,990
前期繰越正味財産額	6,392,828

COMBIC
眼科／耳鼻科器械
株式会社 コンビック
〒578-0947 東大阪市西岩田3丁目3番13−108号
TEL.06−6788−0520・FAX.06−6788−0522

役員・顧問名簿

理 事 長	黒田 真一郎	永田眼科 理事長
副理事長	松本 英樹	眼科松本クリニック院長
	岡田 明	おかだ眼科院長
理 事	浅野 宏規	土浦協同病院眼科
	井口 博之	東淀鋼材株式会社会長
	植木 麻理	永田眼科
	籠谷 保明	かごたに眼科院長
	柏瀬 光寿	柏瀬眼科院長
	黒住 淑子	故 黒住格前理事長夫人
	原 吉幸	原眼科医院副院長 大阪大学医学部臨床教授
	松田 聡	松田アイクリニック院長
	川邨 夫美子	プロパティ・ケア
	荒木 敬士	兵庫医科大学病院眼科
監 事	藤原 りつ子	医療法人社団吉徳会会長
会 長	西田 多戈止	一燈園 当番 AOCA第三代理事長(昭和63年9月～平成6年)
顧 問	井浪 智夫	元(株)イナミ代表取締役
	小澤 素生	(株)ニデック代表取締役社長
	可児 一孝	滋賀医科大学眼科名誉教授
	湖崎 克	湖崎眼科元理事長
	雑賀 司珠也	和歌山県立医科大学教授
	塩田 洋	徳島大学名誉教授・総合病院回生病院眼科
	古川 清実	兵庫県眼科医会会長
	中島 章	順天堂大学眼科名誉教授
	佐堀 彰彦	大阪府眼科医会会長
	飽浦 淳介	(株)MIRAI EYE代表取締役・宮崎大学農学部附属動物病院 研究員 串本有田病院眼科専門医・鳥取大学医学部臨床教授 明治国際医療大学客員教授・AOCA第五代理事長(平成14年3月～平成26)
	牧野 芳久	元なめり牧野眼科院長
	安井 多津子	元安井眼科診療所院長
	山口 洋徳	(株)はんだや代表取締役
名誉会員	岩橋 英行	AOCAの提唱者(昭和46年1月7日付朝日新聞紙上) 元世界盲人福祉協議会副会長 (WBWC)・元日本ライトハウス理事長 AOCA初代理事長 (昭和47年4月～昭和57年1月)
	高橋 幸男	元日本眼科医会副会長・元大阪府眼科医会会長 AOCA第二代理事長(昭和57年～昭和63年)
	黒住 格	元市立芦屋病院診療局長・眼科部長 ネパール眼科医会名誉会員・AOCA第四代理事長(平成7年～平成14年3月)
	樋口 雄二	元大阪府眼科医会理事・ミャンマー担当
	立林 和枝	元眼科松本クリニック看護婦長
	大橋 敏夫	元(株)サンコンタクトレンズ会長
	橋本 勝利	元音戯工房代表

2022年8月末現在

活動理念（暫定）

―我々のめざすもの―

想う　*Imagine*

紛争・テロ・貧困・飢餓…。国、民族、宗教、主義そして個人、それぞれのエゴがぶつかり合う…。それが21世紀の現実である。この比較的平和な日本の我々の日常のはるか向こうで、確かに存在している幾千万、幾億もの苦しみや悲しみに想いを巡らせよう。もし自分や自分の家族がその国に生まれ、自分の生き方さえも選べず不幸のうちに閉じ込められている人間の一人だったら…とありありと想像してみよう。

奉仕する　*Serve*

自分の家族の者が目の前で苦しんでいるのを見て、黙って見過ごせる人がいるだろうか。我々は世界の問題を自分や自分の家族の問題としてとらえ、世界の片隅で悲しみや苦しみを抱えて生きている人々が少しでも幸せに生きられるよう、何かの形で（我々の得意とする眼科医療の面）で奉仕しようと集まった。金と暇を持て余した人がするのではなく、わずかばかりの無駄を省き、時間を作り、奉仕するのである。

尊ぶ　*Respect*

その人の思想、主義、宗教、生まれ、地位や貧富によらず、この地上に生きている一切の人を尊ぼう。大いなるものの下では、一人ひとりがかけがえのない崇高な命である。

内省する　*Introspect*

立ち止まってよく考えてみよう。この世界の対立や争いの元は、我々自身の中に巣食っている貪欲であり憎悪であり過剰な利己心であることを。人間を不幸に陥れる問題の根は我々自身の中にあり、その解決への道も我々自身の中にあることを。我々一人ひとりが、心の中に争いの種を持たない、真に優しい人間にならない限り、平和な世界はやってこないのである。

志す　*Aim*

大袈裟かもしれないが、我々の活動は、争いのない幸せに満ちた世界を実現する為の人類の未来をかけた一つの運動であると考えよう。好きでなくても多少の危険があっても行わなければならない、ヒューマニズムに根ざした運動であると位置付けよう。我々地球市民の一人ひとりが、小さな草の根のところから立ち上がらねば、この地球は不信と憎悪と暴力の連鎖の中に滅びるであろう。

楽しむ　*Enjoy*

私達の日々の活動においては、決して怒らず、争わず、大声を張り上げず、眉間に皺を寄せず、辛いことを率先して行い、みんなで楽しく和やかに行うことを旨としよう。 そうしてまず、私達の周りの小さな世界を、争いのない喜びに満ちた世界にするところから始めよう。

～設立50周年～

2022年にアジア眼科医療協力会は設立50周年を迎えました。1972年にAOCAはネパールを中心としたアジアの地域に対して、眼科医療の面で様々な援助活動を行うことになりました。当初はネパールには眼科医が3名しかいなかったことから、病院のない僻地に医療チームを派遣し、学校などを仮設病院として、白内障手術を中心とした医療を無償で行うアイキャンプ活動から始まりました。また、白内障の手術治療をするだけではなく、その原因を断つために、ネパール人の人材育成にも力を入れ、眼科機材の技術者、看護師、眼科医を日本に招聘して日本の病院や企業で研修を通してネパール人のために働ける人材を育てました。

1988年には日本人眼科医をネパールのケディア病院に長期派遣して、病院の運営や支援活動を行いました。1997年にはネパールでも最貧地区であるゴールに、24時間テレビチャリティ委員会と協働で、ゴール眼科病院を建設して病院運営に力を注ぎ、ゴール病院の自立も果たし、ケディアとゴールの2つの病院で、年間1万5千人を超える手術を行うまでになりました。

2007年から2010年にかけて、独立行政法人国際協力機構（JICA）と草の根技術協力「ネパールにおける眼科医療システム強化プロジェクト」を行い、眼科医の技術力や保健師の眼科知識向上を図り、一人でも多くの草の根の人々に、眼科医療がいきわたるシステム作りを行いました。

一方、2000年から始まったインド北西部、ヒマチャルプラディシュ州カングラ県にあるダラムサラでのアイキャンプ活動は継続して行っております。チベット亡命政府があるダラムサラに、唯一あるデレク病院には眼科医がいないこともあり、デレク病院からの強い要請のもと、毎年年末にアイキャンプ隊を派遣し、毎回40名から70名ほどの患者さんに白内障手術を施しております。

また2018年度には、南インドのチベット難民居住区であるバイラクッペに新たにアイキャンプ隊を派遣し、手術を施すことによって目を患っている現地の方々の視力を取り戻し、大変喜んでいただきました。バイラクッペにても継続してアイキャンプを行い、現地の方々の光を取り戻すことに力を注いでまいります。

AOCAの50周年を記念致しまして記念誌の発行を予定しております。

皆様方の永きに亘る日頃のご支援には、心より感謝申し上げます。誠に恐縮ではございますが、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

ご支援につきましては下記を利用していただけますよう何卒よろしくお願いします。

― 三菱ＵＦＪ銀行　甲子園支店　普通預金

口座番号:５０３８８６３

名義：特定非営利活動法人（ﾄｸﾃｲﾋｴｲﾘｶﾂﾄﾞｳﾎｳｼﾞﾝ）

アジア眼科医療協力会 理事長 黒田真一郎

(ｱｼﾞｱｶﾞﾝｶｲﾘｮｳｷｮｳﾘｮｸｶｲ　ﾘｼﾞﾁｮｳ ｸﾛﾀﾞ　ｼﾝｲﾁﾛｳ)

― 郵便振替

口座番号:００９２０－５－３１８５６６

口座名:アジア眼科医療協力会(ｱｼﾞｱｶﾞﾝｶｲﾘｮｳｷｮｳﾘｮｸｶｲ)

80年代のネパールの田舎の風景

特定非営利活動法人
アジア眼科医療協力会
Association for Ophthalmic Cooperation in Asia
〒663-8104　兵庫県西宮市天道町7-10　105号
電話0798-67-3821　FAX0798-67-3823
URL: http://www.aoca.jp/
E-mail: info@aoca.jp